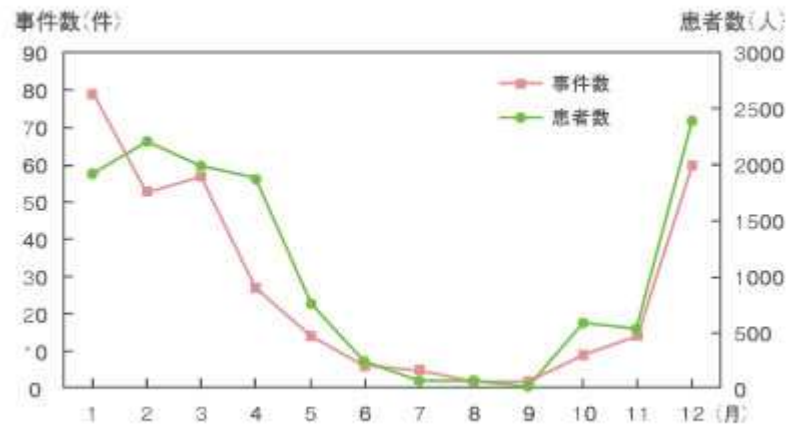


平成25年 ノロウイルスを病因物質とする食中毒発生状況



厚生労働省の食中毒統計によると、平成 25 年のノロウイルス食中毒発生状況は、事件数では、総事件数 931 件のうち 328 件 (35.2%)、患者数では総患者数 20,802 名のうち 12,672 名 (60.9%) となり、病因物質別で、事件数、患者数ともに第 1 位でした。例年、10 月からノロウイルス食中毒は増え始め、12 月～1 月にピークを迎えます。

参考：厚生労働省食中毒統計 平成25年 食中毒発生状況

排泄物や嘔吐物に含まれるウイルスは、接触感染だけでなく、空気中にも舞い上がり、空気感染もします。感染者の体に触ったからうつる、ということはありませんが、触った部分にウイルスが付着していれば、触った人の手にもウイルスが付着します。その手で目や鼻などの粘膜面を触れたり、手づかみで食事を摂れば、体内にウイルスが侵入し、感染することになります。

(1) 人から人への感染

ノロウイルス感染者の吐物・便中にウイルスが含まれています。ウイルスが手などについて口から感染する場合や、嘔吐時には広範囲に吐物が飛び散るため、その飛沫が体につき、手指などを介して感染する場合があります。

(2) 人から食品、そして食品から人への感染

食品取扱者の手を介してウイルスが食品につき、それを食べて感染することがあります。

(3) 食品から人への感染

生や中心部の加熱が不十分なカキなど、二枚貝を生で食べることによって感染します。

接触感染、空気感染により感染するので、

(1) ①手洗い、②患者の隔離、③糞便・おむつ・吐物の適切な処理

(2) 汚染された服や床などの塩素系薬剤による消毒

が予防方法となります。

消毒にあたっては、アルコールやエタノールでは殺菌効果はありません。「85℃以上で1分以上の加熱」と「次亜塩素酸ナトリウム」による消毒が効果的です。

次亜塩素酸ナトリウムは、薬局やインターネットで購入できますが、家庭にある「塩素系漂白剤」には次亜塩素酸ナトリウムを含むものが多いので代用できます。

・ノロウイルスの消毒方法

A：便や嘔吐物が付着した床やトイレ、衣類など

0.1% (1,000ppm) の消毒液を用います。消毒液をたっぷりと布に染み込ませて拭いた後、10 分くらいしてから水拭きします。

B：おもちゃ、調理器具、直接手で触れる部分など

0.02% (200ppm) の消毒液を用います。消毒液に 10 分くらい漬けてから水ですすぎます。

Indian Curry & Asian Foods
GaNeza ガネーシャ

■ガネーシャ日本橋浜町店
東京都中央区日本橋浜町2-30-6
TEL: 03-5439-5072

■ガナパティ三田店
東京都港区三田4-1-4
TEL: 03-5623-5460

Indian Curry & Café Bar
GaNapati ガナパティ

■ガネーシャ東麻布店
東京都港区東麻布1-9-16
TEL: 03-5575-5455

■ガナパティ東日本橋店
東京都中央区東日本橋3-7-86
TEL: 03-5645-7550

■ガネーシャ日本橋兜町店
東京都中央区日本橋兜町1-1-1
TEL: 03-5643-6661

営業時間/11:00~22:00 店休日/無休(三田店・日本橋兜町店は、日曜日店休)
※詳しくはホームページをご覧ください。 <http://foodcast.jp/curry/index.html>

B-Net 翔

発行 / 株式会社 日本環境ビルテック
東京都豊島区南大塚 3-36-7 大塚T&Tビル3F
TEL 03-5979-5545 代表

第4号

■目次

- ・ 新年のご挨拶
- ・ ネパール国大地震に際して
- ・ 防寒対策の知識
- ・ 新型ノロウイルスにご注意を

■ 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。平素は格別なるお引き立てを賜り誠にありがとうございます。近年の様々な変革は大変目まぐるしい感があります。この1月1日より導入されるマイナンバー制度をはじめ、消費税10%へ引き上げ、TPP参加、法人ふるさと納税の実施、厚生年金改革による加入者の拡大、最低賃金平均1,000円への誘導による毎年3パーセントの上昇等々。どれもこれも中小零細企業においては大変頭の痛い問題ばかりです。日本におけるGDPの約80%は内需によるものでありますが、このままでは増税による内需低迷、景気の減速は見ております。その状況の中での人件費上昇は死活問題となる筈です。弊社は、労働集約産業であり、この流れをもろに受けることになると思います。この最低賃金の引き上げは、先のアメリカで1時間10ドルという形で行われました。結果、失業率が上昇するなど逆に格差社会が広がる原因となりました。どれも前政権の民主党時代に行われたことであり、悪しき決定は見直すということが出来ないものなのでしょうか？日本の企業は大多数が中小零細企業であり、日本を支えているのは中小零細企業であると言っても過言ではない筈です。これからの数年は、本当に厳しい、過去に経験したことが無いような氷河期時代に突入する気がしてなりません。しかしながら、日本は先の大東亜戦争で焼け野原となりゼロどころかマイナスから先人たちは再スタートを切り、今の経済大国日本を築き上げました。資源も無い、国土の大半が山である領土の日本、本来であれば最貧国であってもおかしくない国が技術と知恵だけで経済大国を築き上げたのです。その偉大なる先人たちを見習い、弊社も従業員一同が一丸となり荒波や逆風に耐える強い精神を養い、「攻守一体」(Offense and defense integration)を2016年度企業テーマとし、「己を見つめ直す謙虚さ、失敗を恐れぬ果敢さ、決して諦めない心の強さが成長の鍵となる」を2016年度企業スローガンとして邁進して行きたいと思っております。今後、益々のご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

2016年1月1日
株式会社 日本環境ビルテック
代表取締役社長 山田 稔

■ ネパール国大地震に際して

2015年4月25日に発生しましたカトマンズ近郊を震源とするマグネチュード7.9の大地震は8,000名を超える死者を出すなどネパールに甚大な被害をもたらしました。弊社では、地震発生後ただちに関連会社の経営するアジアフードレストラン各店舗に「ネパール大地震義援金BOX」を設置するなど、様々な支援を続けて参りました。幸いにも弊社関連会社で働くネパールスタッフの現地親族で亡くなった方はおりませんでした。発生時は通信が途絶えて安否を気遣う日々が続きました。

ネパール国は、アジアにおいて最貧国であります。昔から親日国で知られ、先の東日本大震災発生時には迅速に日本に対して物資の援助を行ってくれた国のひとつであります。そのときの恩返しと弊社は考え、代表自ら先頭に立ち支援活動を行いました。そして、弊社代表が五反田にある在日ネパール大使館のマダン全権委任大使に直接お会いし、義援金をお届けさせて戴きました。マダン大使の話では、不幸の中にも4つの幸があったということでした。

1つ目は、地震が土曜日であり学校が休みであったこと（地震で学校のほとんどが倒壊しました）。2つ目は、昼間であったこと（夜の地震発生であればもっと死傷者が多くなった）。3つ目は、時期的に観光客が少なかったこと。4つ目は、国際空港が無事であったこと（ネパール国際空港はひとつしかありません。破壊されれば他国からの援助のための飛行機を受け入れることが出来なくなった）。また、日本政府の迅速なる対応には心から感謝すると述べておられました。一日も早くネパール国が復興し、人々に笑顔が戻ることを心からご祈念申し上げます。



■ 防寒対策の知識

冬の防寒対策は何かお考えですか？冬に使用する暖房器具は消費電力が多く、気が付くととんでもない電気代になっていたりします。最近では、暖房器具も省エネタイプのものが多くなりましたので従来と比較すると良くなっています。また、マンションなどに御住まいの方は建物の機密性が高いことから、戸建住宅と比較して防寒対策は楽かと思えます。防寒対策の基本は、建物内から熱を外部に逃がさないということです。要は、熱伝導率が低いものでカバーしてしまえば良いのです。それでは、熱伝導率が一番低いものは何でしょうか？それは「空気」なのです。建物内から熱を逃してしまう一番の原因は窓にあることから、近年では二重ガラス窓が使用されるようになりました。ガラスとガラスの間の空気が熱伝道を抑えているのです。しかしながら、建物の窓をすべて二重ガラス窓に変えるには大変な費用がかかります。以下、ちょっとしたことで費用をかけずに防寒対策をご紹介します。



**屋根や外壁などと比べ、
窓は冬48%の流出と
熱の流出入が大きい。
冬は日中に日差しを
採り入れることと、
熱の流出を防ぐ対策が
必要!!**

●防寒対策その1.

窓に遮熱シートをはる。各社からいろんなタイプが出ていますので、使いやすい物を選びましょう。貼り直しが利くタイプが無難です。また、夏場でも外の熱気や直射日光を防ぐ目的で使えます。おカネをかけずに対策したいなら、梱包に使うプチプチ（エアークラップ）を利用するという手もあります。プチプチは中に空気を溜めてあるので、それが空気層となり壁の役割を果たします。まずは、窓を拭いて汚れをとります。空拭きもして、水分を完全に撤去しましょう。続いてプチプチを窓のサイズに合わせてカットします。次いで、窓ガラスをドライヤーなどを使って温めます。温めた方が接着が簡単です。最後に、養生テープを使ってプチプチを窓に貼りましょう。両面テープでもいいですが、あとで剥がす時に跡がつかない養生テープのほうがオススメ。凸面を部屋の外に向けて、隙間がないように貼り詰めます。ただ、サッシへはみ出るように貼ってしまうと窓を開けることができなくなってしまうので、ご注意ください。また、プチプチの凸面同士を向かい合わせにして二重にして貼ると、さらに断熱効率が上がります。



●防寒対策その2.

窓の対策の第一歩はカーテンから。真冬を迎えようとしているのに薄手の夏向けカーテンのまま、という人はいませんか？外の冷気を遮断するだけの厚みがある厚手のカーテンを設置しましょう。また、カーテンの裾は長めで、床につくものにします。冷気は暖気に比べて重いので、下へ下へ向かう性質がありますから、カーテンの裾の下に隙間があると、そこから冷気が入って来るのです。



●防寒対策その3.

一戸建ての住宅の場合、家の基礎部分に通気孔（換気孔）が開いているはずですが。この孔は換気のために必要な穴ですが、冬季には冷たい空気が床下へどんどん送り込まれるため、部屋を暖房しても床が冷たいまま、という羽目になってしまいます。そこで、通気孔を塞いでしまいましょう。プラスチック板などで孔を覆うように貼るだけで充分です。ただ、春になったら剥がせるよう、剥いても跡がつかないテープを使った方が無難です。



また、最近ではフローリング床が多く、冬はカーペットを敷くことで熱が床から逃げないようにすることも大切です。カーペットの下に断熱効果がある銀マットを床に敷くことでより効果が上がります。銀マットはもったいないという方にはダンボールを張り合わせて敷くことでも効果が上がります。

■ 新型ノロウイルスにご注意を

今年のはじめから新たな変異型ノロウイルス（GII.17）が流行の兆しをみせています。これまでもノロウイルスは変異型ウイルスの出現により、過去に大規模な流行を繰り返してきましたが、最近では主に GII.4 が流行していたため、免疫を持つ人が増え、大流行になることはありませんでした。しかし、この変異型ノロウイルス GII.17 には、ほとんどの人が免疫を持っておらず、広く流行する恐れがあるとのことです。しかし、ノロウイルスに対する感染予防については、従来と同様です。そこで、これから流行時期となるノロウイルスの予防方法やケアポイントについておさらいしておきましょう。

ノロウイルスは、乳幼児から高齢者にいたる幅広い年齢層の急性胃腸炎の病原ウイルスです。特に秋から春先にかけて流行します。ノロウイルスは非常に感染力が強く、少量のウイルスでも人に感染し発病します。保育園や高齢者施設など集団生活の場では感染がひろがり、不十分な汚物処理で容易に集団感染を引き起こします。ノロウイルスの潜伏期間は24～48時間です。主な症状は、嘔気・嘔吐・下痢で、軽い発熱を伴うこともあります。嘔吐の回数は1日10回以上となる場合もありますが、高齢者などを除き重症化することはまれです。その年により流行シーズンに若干のずれはありますが、ノロウイルスが初冬（11月～1月）に流行がみられ、これと入れ替わるように早春（2月～4月）にロタウイルスが始まることが多いようです。まさに、これからのシーズンは要注意です！